

# YAMAKADO NEWSLETTER

NO.154

2012/09/22

山門水源の森を次の  
世代に引き継ぐ会

## 猛暑の中保全作業つづく



四季の森コース「大曲」の補修(12/09/01)



四季の森南端林床整備(12/08/30)



四季の森・北分岐間の補修(12/09/08)



食害防止ネットに掛かったシカ(12/09/11)



コアジサイ群落保全のための下草刈り(12/09/16)



『山門水源の森』(63.5ha)は実に広い面積です。「この森で『生物多様性保全』のための活動をしています。」の言葉は、何となく耳障りも良く格好良く聞こえます。がそれを実行することは至難の業です。35℃を超える猛暑・小雨降る日も作業を怠ると元の木阿弥となることも多い。加えて自然相手。計画通りに進むわけではない。現場の状況に合わせて日々計画変更の連続です。過去3年と今年1年は、森林レンジャー・森林キーパーが居てくれるから多角的な保全作業が出来ていますが、この制度が無くなる13年度からはこれだけの保全作業は不可能です。全国各地から保全が比較的うまくできているということで、保全体・大学・研究機関・民間会社・地方自治体等々から視察が相次いでいますが、来年度からはと考えると……。しかし日本各地で今注目されている保全地域は、意識的なグループ・個人・地域の先覚的で地道な活動の継続で維持されてきました。「山門水源の森」もそんな会員の集まりです。何とかこの多様性を維持してゆきたいものです。



保全作業の合間を縫って 連日の保全作業の合間を縫って調査や講座・来訪団体の案内も続いています。



ササユリの朔果調査(12/08/21)

11月8日に実施予定の「ササユリ播種」作業に向けて、ササユリの朔果の充実の程度も調査を行いました。5月時点で300株にネットや金網で保護しましたが、8月21日現在残っている株は200株。このうち採種が可能な朔果は128個（ただし調査後食害に遭った株もある）。ササユリは酸性土壌が適しているのですが、これまで土壌のpH調査は実施していなかったもので12地点で土壌採取を行った。昨年見つけたヒダサンショウウオの幼生が今年も見つかり生息が継続していることが確認出来ました。天然更新試験地では、実生も含めた詳細な植生調査（萌芽の有無も含め）を開始しました。



ミヤコアザミの育種(12/08/21)



ガイド養成講座「救急」(12/08/25)



土壌調査(12/09/05)



天然更新試験地植生調査(12/09/13)

PHOTO BY ITÔ

湖北エコミュージアム推進協議会  
サテライト交流会(12/08/19)

ヒダサンショウウオの幼生(12/09/04)

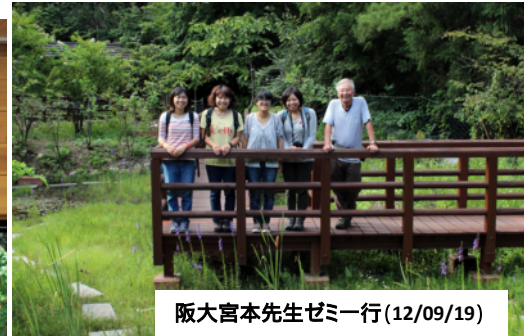


滋賀大社会環境教育実習(12/08/20)

研修室の隅で日の目を見ていなかった山仕事の背負子等をデコレーション展示しました。来訪者に好評!!



背負子などを研修室に展示



阪大宮本先生ゼミ一行(12/09/19)